

多度津町 自分ごと化会議 先進事例等のご紹介

株式会社パブリックテクノロジーズ
代表取締役CEO 青木 大和

プロフィール



青木 大和

- (株)パブリックテクノロジーズ代表取締役CEO
- アルペンスキーヤー（2022年北京パラリンピック日本代表）

経歴

- 15歳にて単身渡米し、オバマ政権の誕生を目の当たりにし、帰国。
- 帰国後にNPO法人を設立。2016年1月に事故に遭い、脊髄損傷。リハビリと共に2017年に起業し、2020年にスピンアウトする形で、現在CEOを務める株式会社パブリックテクノロジーズを創業。
- 「暮らし続けたい"まち"をつくる」ための、移動の改革を軸とした自治体DXソリューションの開発を手掛ける。
- プライベートでは、2020年にパラリンピックを出場を目指し、幼少期より打ち込んでいたアルペンスキーに復帰。翌2021年に日本代表に選出され、2022年の北京パラリンピックに日本代表として初出場。2026年のミラノコルティナパラリンピックにてメダル獲得を目指す。

会社概要



社 名	株式会社パブリックテクノロジーズ
設 立	2020年5月15日
経営陣	代表取締役CEO 青木大和 代表取締役COO 杉原裕斗 取締役CTO 森宮 惺 取締役CFO 鎌田 将晴
ミッション	暮らし続けたいまちをつくる
事業内容	G o v T e c h 事業の運営
主要株主	村井 純（内閣官房参与/デジタル庁顧問） 鈴木 寛（東京大学公共政策大学院教授/元文部科学副大臣） 福留 大士（株式会社チェンジホールディングス代表取締役） 水野 誠一（元西武百貨店社長/元参議院議員） 他 個人投資家 10数名

会社概要

Our Solution

私たちの事業

DXツールを「上手に」使って、 自治体を「もっと豊か」に

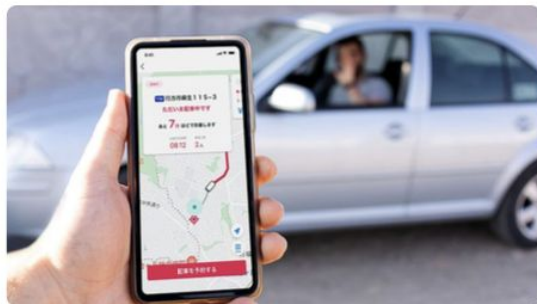


自治体スーパーアプリ事業

いれトク！

自治体サービスをまるごと1つのアプリに

1つのアプリであらゆる自治体のサービスをDX化。各システムの統合により、開発・維持費を大幅削減。

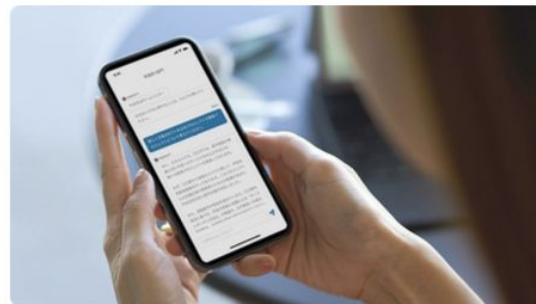


公共交通事業

いれトク！AI配車

交通空白地にライドシェアを届ける

移動手段が限られる過疎地域の公共交通を改善するため、遊休車両と地域住民の潜在的なドライバーリソースを活用するライドシェアシステムを提供します。



AIソリューション事業

市役所GPT

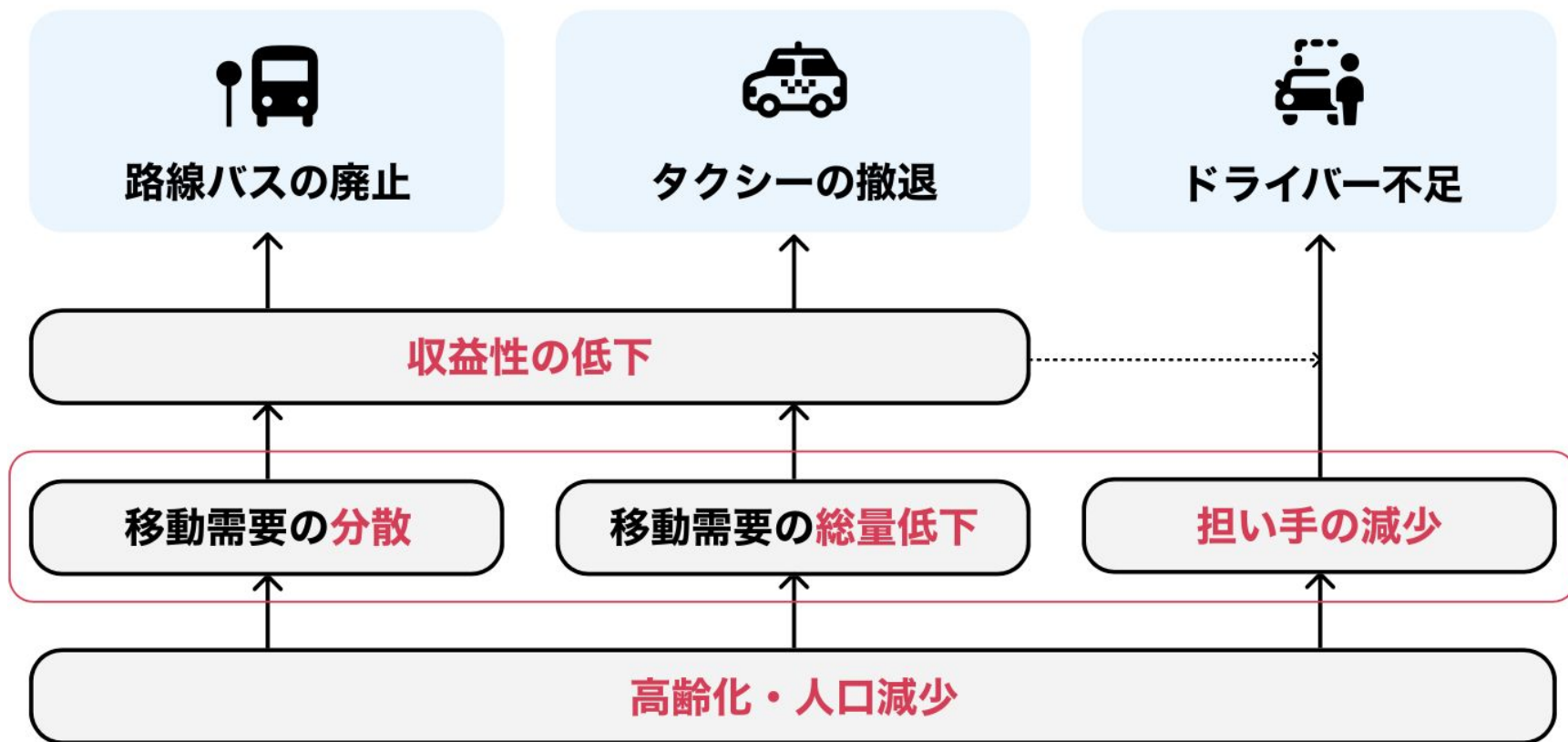
住民からの問い合わせの概念を変える

一人ひとりの問い合わせに最適化された「回答を生成」する次世代チャットボット。職員の負担を大幅削減。

なぜ公共領域（地域交通）の事業に取り組んでいるのか

課題意識と時代背景

過疎地の公共交通は、**どうすれば維持できるのか？**



課題意識と時代背景

3つの課題に着目した公共交通再編



自治体の主導の下で、AIデマンド交通／ライドシェア
の導入を進めていく必要

課題意識と時代背景

国内におけるライドシェアのタイプは現在 2種類

	「日本型ライドシェア」 (自家用車活用事業)	「自治体ライドシェア」
根 拠	道路運送法第78条3号 (公共の福祉確保)	道路運送法第78条2号 (自家用有償旅客運送)
要 件	タクシーが不足する 地域・時期・時間帯	交通空白地 (時間帯空白も新設)
運営主体	タクシー事業者	地方自治体、NPO
登録・許可	運輸支局の許可	運輸支局の登録
対 価	タクシー運賃と同額 キャッシュレス決済 運賃事前確定	タクシー運賃の約8割 現金など多様な支払い方法

(出所) 日経グローバル作成

弊社の取り組み事例



茨城県行方市での事例

■ 事業形態

- 月曜日～土曜日に1日最大4便運行
- 予約型／ドアツードア・乗合型
- 500円／回,人で登録した市民が乗車可能
※高齢者・障害者などに割引制度あり

■ 提供サービス

- 市営デマンド交通の運営を受託
- 予約アプリ・配車システムを提供
- 運行は地元のタクシー会社に委託



POINT

2023年10月より、茨城県行方市での乗合タクシー事業の運営全体を受託しており、**平均で1日60～70人の利用があるなど、全国でも屈指の稼働率を誇っています。**
高い需要を踏まえ、増便の検討と配車管理のデジタル化を進めています。



弊社の取り組み事例



石川県小松市での事例

■ 運行形態

- 週3日（木金土曜日）・17時～24時の運行
- 夜間を中心とする地域住民や来訪者の移動手段を確保

■ 提供サービス

- 予約アプリ・配車システムを提供
- 運行は面接・講習を受けた地元住民が実施

POINT

2024年2月より、「自治体ライドシェア」の**全国初導入を支援**しています。

小松市での事例をもとに、今年度複数の自治体でもスタート予定



二次避難者限定

無料乗車
ダウンロードはこちら

※6/1〜アプリ内クレジット決済など予定しております

タクシーが捕まらない時にご利用ください!

小松市 ライドシェア

「i-Chan」運行再開します!

本格運行開始

運行時間

3.22(FRI) ~ 17:00~24:00

運賃

初乗り1kmまで **400円** 以降、300mごとに **100円**

※ドライバーが整い次第毎日運行

木・金・土曜日のみ運行

予約は、アプリでも電話でも

お電話からの予約はこちら

050-3493-0068

電話予約受付時間(運行日のみ)

16:00~24:00

電話連絡時は時間を置かず、アプリからの予約をご利用ください。



「いれどく」ホーム画面の「i-Chan」を選択してください

乗車地と目的地を選択してください

乗車人数を選択します

出発時間または到着時間を
選択します

予約内容が
表示されます

二次避難者限定

無料クーポン

いつでものタクシーも!

氏名

日付と時間

運賃

※二次避難者の方は、クーポン表示で無料(タクシー含む)でご利用いただけます。

※ご利用は、17:00~24:00の乗車に限ります。(タクシー含む)

※ご利用は、乗車地のどちらかが小松市内の乗車に限ります。(タクシー含む)

小松市・加賀市でも乗車
できるようになりました!



自治体ライドシェア「i-Chan」は、株式会社パブリックテクノロジーズが提供するアプリ「いれどく」からご利用いただけます。

タクシーに関するお問い合わせ先

小松市役所 地域創造課

hatsuratsug@city.komatsu.lg.jp

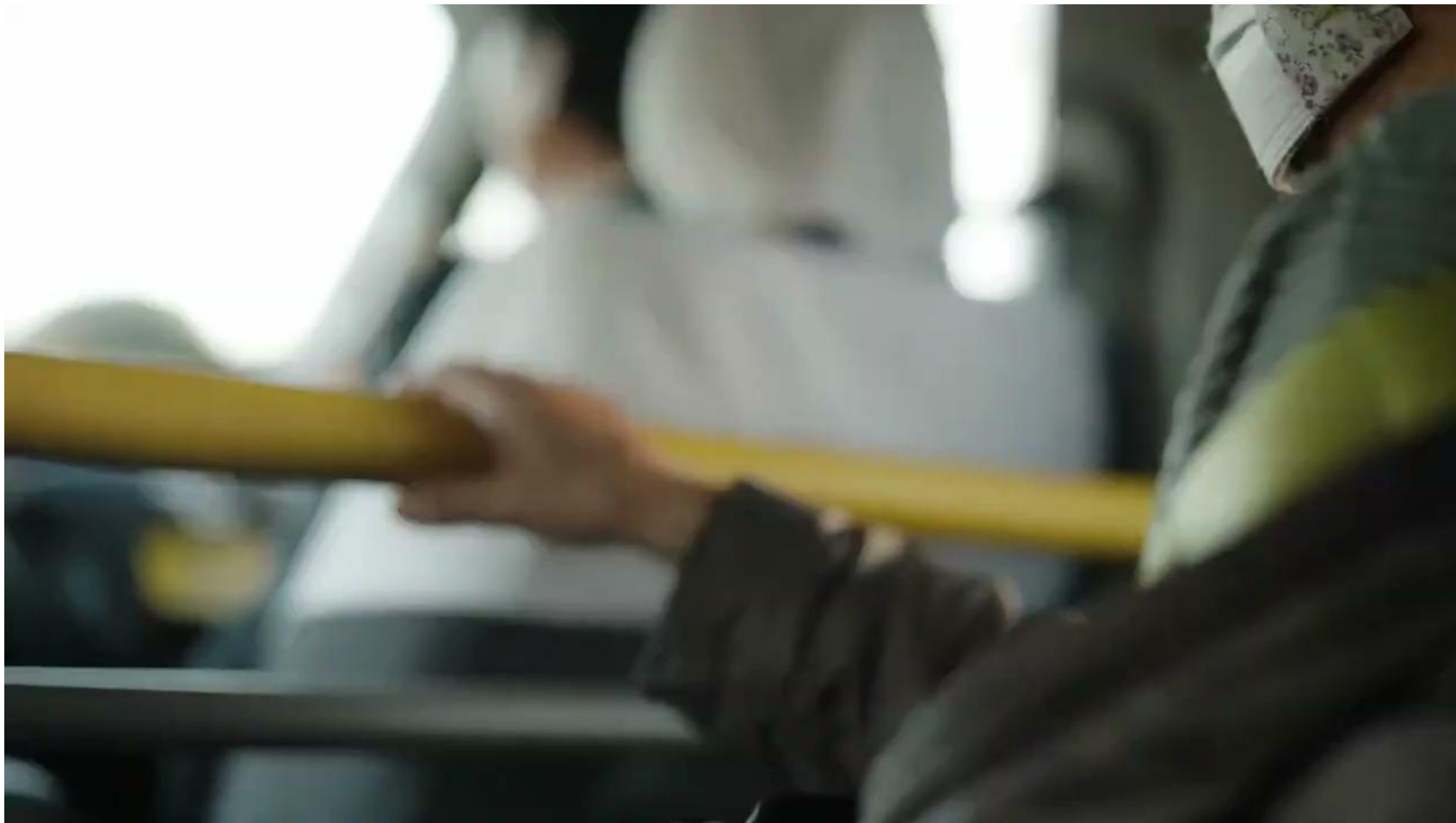
運営事業者お問い合わせ先

株式会社パブリックテクノロジーズ

info@publtech.jp

公共交通事業_コンセプトムービー

<https://www.youtube.com/watch?v=3vZu5MY753M>



国内／国外の先進事例

福井県永平寺町「自動運転バス」

- 2023年5月～
- 国内初のレベル4での運行



自動運転のレベル分け ※参照元：国土交通省自動車局 自動運転車の安全技術ガイドライン

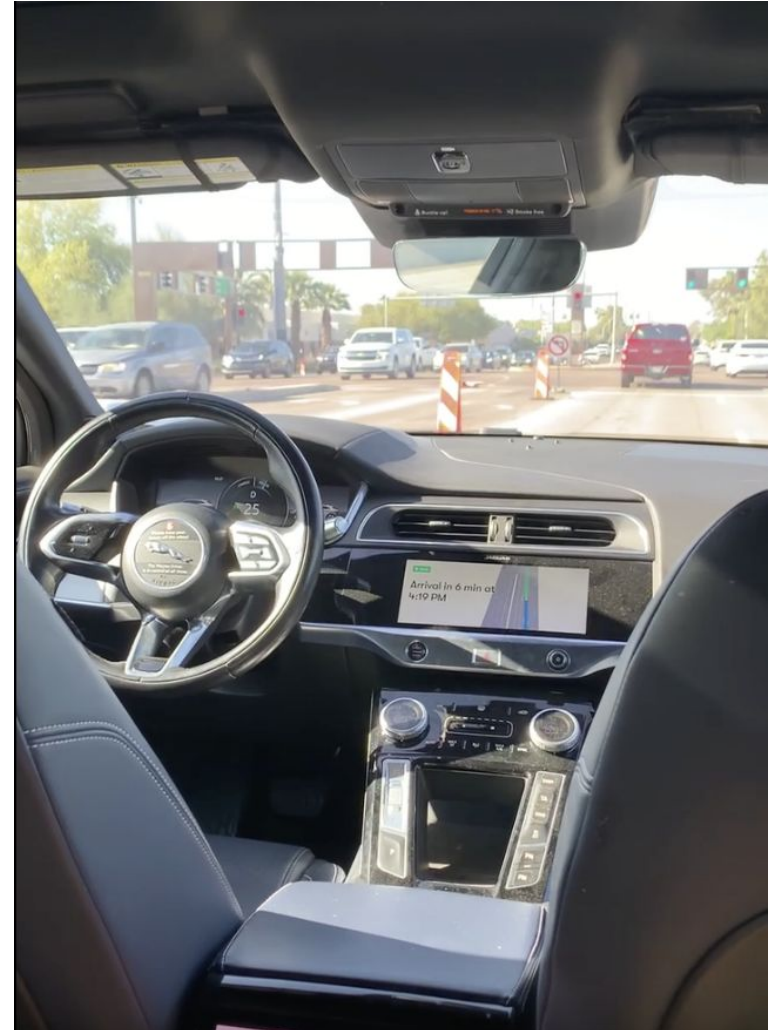
レベル	名称	安全運転に係る監視・対応主体
レベル1	運転支援	運転者
レベル2	部分運転自動化	運転者
レベル3	条件付運転自動化	システム（作動継続が困難な場合は運転者）
レベル4	高度運転自動化	システム
レベル5	完全運転自動化	システム

国内／国外の先進事例

米・Waymo社「自動運転タクシー」

- レベル4での無人運行
- ※青木が体験・撮影

[動画はこちら](#)



最後に

持続的な地域交通を考える中で大切にしていること

・

本事業を通して皆様と議論したいこと